

川畑満里子さん『語彙』（12月7日配信）

私には4歳と1歳のCODA（コーダ）の娘が2人いるのですが、最近、下の娘が手話を出すようになりました。

「さつまいも」や「おいしい」。娘が「おいしい」をやるとこうなります。あとは…これですね。「(〇〇が) 欲しい」という意味です。あとは何があったかな…「欲しい」と…あ、これですね。「バイバイ」という意味です。

それ以外には、私が話しかけている手話を、意味を分かってというのではなくとにかく真似しています。例えば私が表した娘のサインネームを真似してげんこつでこのように表していたり、「パパ」や「ママ」を人差し指でこうやったり。

いずれ大きくなり、手話（意味）が分かるようになって、色々話してくれるのが楽しみです。